

社会教育委員会 会議概要

1	審議会名	第8期第2回社会教育委員会
2	日時	令和3年4月21日(火) 午後1時30分から午後3時10分まで
3	会場	教育委員会 第1会議室
4	出席者	竹花のり子委員 小山ひとみ委員 清水洋幸委員 滝澤共子委員 西澤むめ子委員 上野勝裕委員 小平千文委員 高田正哉委員 宮下俊哉委員 山崎順子委員
5	市側出席者	小野沢教育次長 竜野生涯学習・文化財課長 西嶋人権同和教育政策幹 櫻井スポーツ推進課長 小泉中央公民館長 浅野上田図書館長 和根崎博物館長 山田生涯学習係長 宮崎生涯学習係主任 古平地域学校支援員
6	公開・非公開等の別	公開
7	傍聴者	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和3年5月31日

協議事項等

会議事項について

- 1 開会
- 2 自己紹介
- 2 あいさつ (教育次長、代表)
- 3 会議事項
 - (1) 令和2年度実績報告について
 - (2) 令和3年度重点目標について
(事務局) 各所属長から(1)(2)それぞれ説明 (代表で公民館は中央公民館長、図書館は上田図書館長)

(委員の発言)

 - (1) 人権同和教育に関し、今後ジェンダー教育や人種など様々な観点を取り入れた教育の推進について。
 - (2) 文化財では後継者不足や地域文化財をどう守るかなどについて、今後、市が取組む文化財保存活用地域計画の中で考えていってほしい。
 - (3) 青少年育成については子供の貧困、自殺、不登校、スマホ利用など課題が多岐に渡っている。また、スマホ利用の時代の中、SNSも大事だが紙ベースも大切。伝える内容によって使い分けて欲しいという指摘も出た。
 - (4) 図書館については、スペースの問題に関し、蔵書購入や寄付に対する考え方が問われた。
 - (5) 新型コロナウイルス感染症の影響については、特に子どもたちがコロナ禍の中で様々な活動がストップし、精神的ダメージ等あり心のケアが必要。それぞれが連携することが大切。子どもたちの学びを止めない、社会全体だと事業を止めないことが大事。このような事が確認された。

(事務局) それぞれの委員の発言を受け止め、業務や事業にいかすことを説明。
- 4 社会教育委員関係今年度の事業計画について
(事務局) 年間の主な事業について説明。(委員承認)
- 5 その他
- 6 閉会